

修学旅行新聞

発行所 財団法人 全国修学旅行研究協会
発行人 前田 寛
編集長 代田 西 伸
編集 千代田 西 伸
印刷 千代田 西 伸
電話 東京 千代田 西 伸
電報 東京 千代田 西 伸

修学旅行は、学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行う学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常時その改善に努力し、ついで教育効果の充実に努める事は必要であり教育界に課せられた責務でもある。
(財団法人 全国修学旅行研究協会 趣意書から)

修学旅行国際化の動き

公立高も海外へ

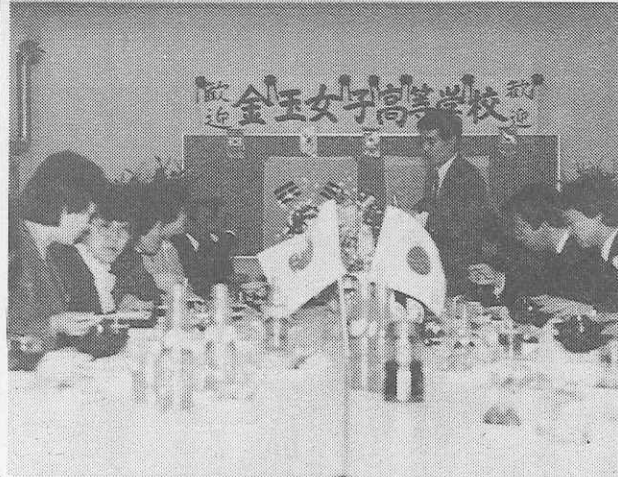
海外を目的地とする私立学校の修学旅行は、年々その数を増しているが、公立高校でもその動きが活発化している。東京へ行くよりもソウルの方が近い福岡県や山口県では、すでに一部の県立高校が韓国への修学旅行を実施しており、山口県では韓国旅行を正式に認める方向で検討が進んでいる。さらに、浦和市では公立高校で初めての中国旅行を実施することにしており、国際化時代へ向けての修学旅行の動きが注目される。

山口県から韓国へ

浦和市から中国へ

山口県では、昨年秋試行的に県立防府商業高校国際経済科四十八名が、四泊五日の韓国、釜山・慶州・ソウルへの修学旅行を実施した。隣県では福岡県立小倉商業高校が昭和五十九年から韓国への修学旅行を実施しており、私立高校の海外修学旅行実施も増加の傾向にある。これを受けて、山口県教育委員会では、現行の修学旅行基準の見直しを行う方向で検討することになった。現在、山口県の修学旅行実施基準は、昭和三十年に定められた百十時間以内、四万七千円以内(現在五万五千円で運用中)、関西以西九州沖縄を含まない(範囲となっている。前述の防府商業高校の場合、費用は五万八千円で、同県教育委員会では、実施基準には合致しないが試行として認めたこともあり、問題点もいくつかあるが、今後の対応として、つぎの二項目をあげている。(1) 国際理解を深め、国外での生活体験をすることになるため、教育効果の点からも、国外への修学旅行の推進は必要となる。そのため、現行の修学旅行基準の見直しを行う。

韓国からも続々来日



埼玉女子高で歓迎を受ける金玉女子高の一行

昭和五十九年開校、翌年から韓国への修学旅行を実施している私立埼玉女子高校(宮原和夫校長、埼玉東毛呂山町)では、ソウルの金玉(クムオク)女子高校から代表を招き、姉妹校の縁結びを行った。出国許可の関係で、今年は教職員、生徒合わせて八名の訪日であったが、一行は一月十八日成田着、デイズニールド見学後翌日同校を訪問し、芸術鑑賞会を開催するなど、盛大な歓迎を受けた。その後二十四日まで日本に滞在し、地元の韓国ゆかりの高麗神社をはじめ、川越、日光、東京都内を見学、さらに新幹線で西下、京都、奈良を回り、大阪から帰国した。また、これより先、私立細田学園女子高校(細田早苗校長、埼玉東毛呂山町)では昭和五十九年から韓国への修学旅行を実施しており、今年も十一年目となるが、昭和五十七年以来、姉妹校である釜山の三聖(サムソン)女子高校から短期留学を受け入れている。今年一月八日に三十四名が成田着、学校の寮に七泊して数々の交歓行事を行うほか、箱根、デイズニールド、東京都内を見学し、さらに十五日には新幹線で京都に向かい、奈良、京都を見学して十七日大阪から帰国した。現在、諸般の事情で一方通行になりがちであるが、今後でもできるだけ短期留学を拡大するなど、国際交流の輪をひろげたいものである。

年間の活動を検討 新年度対策を練る 関修委

関東地区公立中学校修学旅行委員会(飯野昭会長、宇都宮市立東が丘中学校校長)は、二月十九日、東京文化会館において、六十二年第六回研究協議会を開き、本年度の活動を総括し検討を行うとともに、六十二年事業の大綱につき協議を行った。協議は茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉各県委員長から年間活動の報告があり、(1)輸

国鉄新社略称、シンボルカラー、首脳陣きままる

日本国有鉄道は、四月一日から分割民営化され、新しいスタートを切るが、その略称とシンボルカラー、首脳陣の顔ぶれなどが二月末までに決まった。新会社共通の略称は「JR」(JAPAN RAILWAY)とし、JRグループ六旅客鉄道会社は各組織についてはつぎのとおりである。JR北海道(ライトグリー) 本社・札幌市、会長・東条益徳、北海道拓殖銀行相談役、社長・大森義弘、国鉄

63年度輸送計画を決定

近畿中学校修学旅行委員会(二月二十日、申込校の昭和六十二年輸送計画の抽選会(乗車日の決定)を行った。申込集計によると、①関東方面、二百三十五校、五万六千四百三十三名(昨年度より三十四校、六千八百十八名増)、②信州、北陸方面、百十九校、三万八千七百七十名(昨年度より二十六校、一万二千五百五十二名減)、③中国方

風紋

修学旅行のしおりを心をこめてよく読んでみると、生徒たちの集団活動、先生の指導のあとがわり、感心したり、考えさせられることが多い。大阪府富田林市立第三中の六十二年修学旅行「信州の冒険」実行委員会アピールもその一つであった。五月十七日から三泊四日で修学旅行を実施します。三年生は早くアンケートをとったり、約束ごとを決めたり、しおり製作にとりくみました。とりわけ、クラスになじめないから楽しくない、クラスに友達がない、などの理由で悩んでいる友達をなぐさそうという話も、クラスや班をよく話し合ってきました。そんな中で多くの生徒が、修学旅行が単なる「遊び」や旅行でなく、「仲間をつくる大切な行事」だという理解を深めました。修学旅行が心に残るよい思い出となるようがんばりましょう。というのである。素直に級友たちと呼びかけているこの文の中に、修学旅行の指導上の問題点に対する答えが、こたえのように響いており、修学旅行の実践を通して、孤独な級友とのあたたかい仲間づくりをめざしているところには、とくに深い共感を覚えた。また、愛知県岡崎市立城北中の日程表は、縦十センチ、横一メートルのもの、十五ページの経文式に折りたたみ、詳細な案内や注意事項を、いつでもポケットから出して見られるように工夫がされているのもユニークだ。協会によせられた数多くのしおりは、学がところろろ多

口恒則・四国電力会長、社長・伊東弘教、国鉄常務理事四国総局長 ○JR九州(レッド) 本社・福岡市、会長・永倉三郎、九州電力会長、社長・石井孝、国鉄常務理事九州総局長 ○JR貨物(コンテナブルー) 本社・灰色がかった青 〓本社・東京、会長・町田直・元運輸事務次官、社長・橋元雅司、国鉄副総裁 ○国鉄清算事業団 理事長・杉浦喬也、国鉄総裁 ○新幹線保有機構 理事長・石月昭三、元海上保安庁長官 ○鉄道総合技術研究所 会長・井深大、ソニー名誉会長、専務理事 渡辺博年、前鉄技研所長

五月九日から二十一日まで、五月十三日から六月三日まで、B8新幹線・在来特急 五月九日から十二日、五月十六日から十九日、五月二十三日から二十六日、五月三十日から六月二日、六月六日から九日、六月十三日から十六日、六月二十日。 ○北陸方面、B9五月二十五日から六月六日まで、B10(富山経由)六月七日から十三日まで、B10(松本経由、逆コース)六月七日から十二日まで。 ○中国・九州方面、C1・D1(専)五月九日から六月十九日まで、C2・D2五月九日から六月四日まで、C3・D3(定)五月十七日から五月二十九日まで、C4・D4(定)五月三十日から六月十六日まで、C5・D5(定)六月十七日、C6(定)北近畿 五月二十五日から三十一日まで、D6(専)新幹線・船 五月二十三日から六月六日まで、D7(専)船・新幹線 五月二十二日から六月五日まで、A6・7(定)北近

信頼される旅づくり
先生たちとの修学旅行「いつまでもわすれません!」
生徒の心にあざやかにつづられる、ツーリストの修学旅行。
先生と、そして友と行った修学旅行。かけがえのないふれあいが、よき思い出としてひとりひとりの心に残る、そんな旅にしてあげたいですね。ワールドワイドなネットワークを通じて、ツーリストがお世話する修学旅行は、各方面より多大なご好評を得ています。それぞれの教育方針に添った国内・海外の修学旅行なら、なんなりと近畿日本ツーリストにご相談ください。
近畿日本ツーリスト 本社 千101 東京都千代田区神田松永町19-2 ☎(03)255-7111代 支店 国内242ヶ所(登録) 海外14ヶ所
◎運輸大臣登録一般旅行業第20号

